

DRV-MR745

スタンドアローン型

前後撮影対応 2 カメラドライブレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド



もしものときは！！

必要な録画 / 記録ファイルが上書きされないように
本機の電源をオフして microSDHC カードを取り出して
ください。(→ P.25)

microSDHC カードを本機に挿入する前に 13 ページの
「microSD カードについて」をお読みください。


My-Kenwood (ユーザー登録)のご案内

お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。
下記ウェブサイトにて会員規約をご確認になり、My-Kenwood をご利用ください。
<https://jp.my-kenwood.com>

目次

本書の見かた	3	常時録画面のアイコン	28
ドライブレコーダー機能ガイド	4	常時録画	28
録画機能について	4	イベント記録	29
運転支援機能について	5	駐車録画	30
リアスモークガラスの設定について	5	駐車録画機能をオンにする	31
安全上のご注意 (必ずお読みください)	6	手動で駐車モードを起動する	33
内蔵電池について (本機は充電式電池を 内蔵しています)	7	写真を撮影する (静止画記録)	34
取り付けや配線について	8	再生する	35
使用方法について	10	再生画面のアイコン	35
異常時の問い合わせ	11	ファイルを再生する	35
再生メニューの操作			36
使用上のご注意	12	運転支援機能を使う	37
取り付けについて	12	運転支援機能についてのご注意	38
ご使用について	12	メインユニットのカメラ位置とボンネット 位置を調整する	38
電源について	12	運転支援機能をオン / オフする	39
内蔵バッテリーについて	12	設定を変更する	40
衛星受信について	12	各機能を設定する	40
本機のお手入れ	12	メニューの一覧	41
microSD カードについて	13	LCD 表示時間を設定する	45
本機で使用する microSD カード	13	リアスモークガラスの設定を変更する	46
当社推奨 microSD カード	13	フォルダ / ファイル構成	47
microSD カード使用上のご注意	13	パソコンツールを使う	48
ファイルについてのご注意	13	KENWOOD ROUTE WATCHER II の動作環境	48
各部の名称とはたらき	14	インストールする	48
メインユニット	14	録画ファイルの再生	48
2nd カメラ (車外後方撮影用)	15	故障かな?と思ったら	49
操作ボタンとアイコンについて	16	共通	49
取り付け / 配線のしかた	18	駐車録画	50
取り付け時のご注意	18	イベント記録	51
メインユニットを取り付ける	18	運転支援	52
2nd カメラを取り付ける	19	時計	52
接続する	20	KENWOOD ROUTE WATCHER II	52
推奨取り付け位置	21	表示メッセージ	53
車載電源ケーブル CA-DR250 (別売品) で接続する	23	付録	54
車載電源ケーブル CA-DR350 (別売品) で接続する (駐車録画機能を使う場合の 接続方法)	24	モニター画面について	54
ご使用の前に	25	商標について	54
電源をオン / オフする	25	ソフトウェアについて	54
microSD カードを入れる / 取り出す	25	主な仕様	56
microSD カードをフォーマットする	26	保証とアフターサービス	58
録画する・写真を撮影する	27	交通事故時ドライブレコーダー買替補 償金制度	60
画質の種類	27	MEMO	61
メインユニットと 2nd カメラの映像を切り 替える	27		

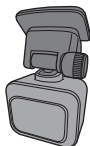
本書の見かた

表記	説明
(→ P.34)	本書の参照するページを表しています。
「音声記録設定」	本機に表示されるメニュー名を表しています。
[画面切替 / 決定]	本機のボタン名を表しています。
	手順の補足説明や制限事項について説明しています。
つづく	説明が次のページに続いていることを表しています。 右ページのみに表示します。

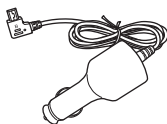
- 本書の画面や操作例は操作説明用に作成したものです。
実際の画面と異なる画面や、実際には行えない例が記載されている場合があります。
- 最新の取扱説明書やファームウェアのアップデート情報などについては、
当社ホームページ <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/> をご覧ください。

付属品

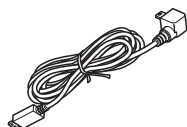
車外後方撮影用カメラ
(ブラケット付き) x 1



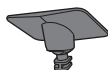
シガープラグコード
(3.5m) x 1



車外後方撮影用カメラケー
ブル (8.0m) x 1



メインユニット取付ブラ
ケット (両面テープ) x 1



microSDHC カード
(32GB) x 1



保証書 x 1



- microSD カードは消耗部品です。消耗部品の交換は保証期間内でも有料になります。

ドライブレコーダー機能ガイド

本機は付属の microSDHC カード (以降 microSD カード) にメインユニットと車外後方撮影用カメラ (以降 2nd カメラ) の映像および写真を記録保存します。必ず microSD カードを挿入してからお使いください。

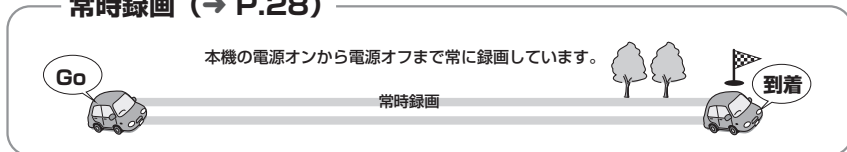
microSD カードの入れかたについては 25 ページをご覧ください。

録画機能について

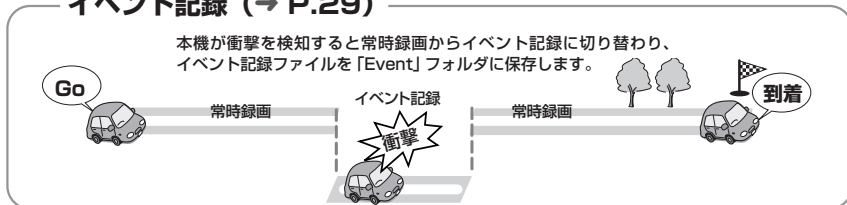
車両のエンジンスイッチを「ACC」または「オン」にしている間は、本機の電源がオンになり、常に録画を続けます (常時録画)。常時録画中に、車両に大きな衝撃が加わった場合は、その前後の映像を記録します (イベント記録)。

また、ドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR350 (別売品) を使用しているときは、駐車中、車両に大きな衝撃または動体を検知すると、検知前後の映像を録画します (駐車録画)。イベント記録の衝撃検知、駐車モードの衝撃や動体検知はメインユニットのみで機能します。

常時録画 (→ P.28)



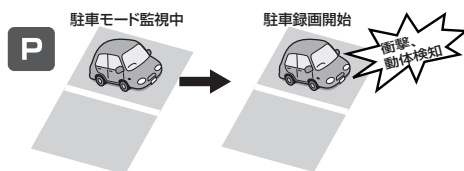
イベント記録 (→ P.29)



駐車録画 (→ P.30)

ドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR350 (別売品) が必要です。また、駐車録画を使う場合は「駐車モード設定」を「オン」にして設定を行ってください。(→ P.31)

- ・ 駐車場などに車両を停めて、約 5 分間車両に振動が加わらなかった場合に駐車モードの監視が始まります。



■ イベント記録の手動録画

常時録画中に本機の [▼/REC] ボタンを押すとイベント記録の手動録画を開始します。手動録画が終了すると常時録画に戻ります。(→ P.29)



■ 写真撮影（静止画記録）

録画中に本機の [▲/📷] ボタンを押すと、写真を撮影します。(→ P.34)



運転支援機能について

本機には車線逸脱警告、前方衝突警告、リフレッシュ通知、エコドライブ表示、発進遅れ警告の5つの運転支援機能があります。

各機能については事前に本機の調整と設定が必要です。(→ P.38)




リアスモークガラスの設定について

本機にはリアガラスに色が付いている、または、フィルムを貼っている場合、色の濃さ(無し/薄め/濃いめ)に合わせて設定できる機能があります。お買い上げ時は「無し」に設定されています。リアガラスの色に応じて設定を「薄め」、「濃いめ」に変更することで記録映像の明るさを変更できます。(→ P.46)




安全上のご注意（必ずお読みください）

■ 本機の取り付け、配線、操作を始める前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

● 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 危険	人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

● お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならない）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

● 免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

● 著作権について

- ・録画・撮影・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- ・鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。

内蔵電池について（本機は充電式電池を内蔵しています）

危険



本機（内蔵電池）の取り扱いに注意する

本機は充電式電池を内蔵しています。次のことを必ず守ってください。

- 分解・改造しない
- 加熱したり、火の中に入れてたりしない
- ダッシュボードなど直射日光の強いところや炎天下の車内などの異常に高温となる場所に放置しない

内蔵電池が発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。



内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する

本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池を過熱したり、分解・改造したり、火や水の中に入れてはいけない
- 内蔵電池を火のそばや炎天下などに置かない
- 内蔵電池のコネクターに絶縁テープをはる

発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。

警告



内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する

本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池は、幼児の手の届く場所に置かない
- 内蔵電池の液がもれて目にはいったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の治療を受ける

けがや事故の原因となります。

安全上のご注意（必ずお読みください）

取り付けや配線について



警告



本機は DC12V/24V ⊖アース車以外で使用しない

火災や故障の原因になります。DC12V/24V ⊖アース車以外で使用しないでください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない

エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない

交通事故やケガの原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない
交通事故やケガの原因となります。

本機は保安基準の取り付け許容範囲外に貼り付けない

視界不良や本機がはずれて、事故の原因となります。



取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する

取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする

火災や故障の原因となります。作業は手順どおりに正しく行ってください。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付けの場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する

被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ネジなど小物部品や microSD カードは乳幼児の手の届かないところに置く
あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

本機に付属のシガープラグコードを使用する

付属以外のシガープラグコードを使用すると、火災、感電の原因となります。

シガープラグは、確実に差し込む

確実に差し込めない場合、接触不良により火災、感電の原因となります。

シガープラグを抜くときは、プラグを持って抜く

コードが破損し火災、感電の原因となります。

使用後または長時間使用しないときは、シガープラグを抜く

車種によってエンジンを切ってもシガーライター電源が切れない場合があります。火災やバッテリー上がりの原因となります。

シガープラグは定期的に清掃する

ほこりが付着していると火災の原因となります。



ぬれた手でシガープラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

注意



水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。



コードの扱いに注意する

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

安全上のご注意（必ずお読みください）

使用方法について

⚠ 警告



分解・修理および改造はしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。



音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

故障や異常な状態のままで使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止して電源コードを本機から外してください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。



雷が鳴り出したら、電源コードや本機に触れない

落雷による感電の原因となります。



ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご依頼してください。

⚠ 注意



本機を車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。



走行前に本機の取り付け状態を点検する

本機の脱落、落下等により、けがや交通事故の原因となることがあります。

異常時の問い合わせ



異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口
相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

使用上のご注意

取り付けについて

- 誤った取り付けをした場合は、本機が正しく動作しないことがあります。取り付け方向、取り付け角度など「取り付け / 配線のしかた」を参照して本機を正しく取り付けてください。(→ P.18)

ご使用について

- もしものときに備えて、本機の録画機能が正しく働いているか定期的に確認してください。本機で録画した microSD カードの映像を本機またはビューアソフト「KENWOOD ROUTE WATCHER II」で再生し、最新のファイルが録画されているかなどの確認を行ってください。(→ P.35/P.48)
- カメラのレンズをふさいだり、汚したり、レンズの近くに反射物を置かないください。
- 車両のフロントガラス / リアガラスにコーティング剤が使用されている場合は、録画品質に影響が出る可能性があります。
- 本機が応答しなくなった場合は、電源を入れ直してください。電源を入れ直すには本機の底面にある RESET ボタンを先端が細かい爪楊枝等で押します。電源が切れて、再度オンになります。(→ P.15)
- LED 信号機の色が認識できなかったり、ちらついたりする映像が記録される場合がありますが、本機の故障による症状ではありません。信号機の識別や記録に関して、当社は一切の責任を負いません。

電源について

- 本機の動作電源電圧は DC5V です。必ず付属のシガープラグコードまたはドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR250/350 (別売品) を取扱説明書にしたがって接続してください。ケーブルの改造 (バッテリーに直接つなぐ) などは絶対に行わないでください。

内蔵バッテリーについて

- 本機は時計のバックアップをするためのリチウム二次電池を内蔵しています。
- 購入直後はバッテリーが十分に充電されていません。時刻がリセットされるときは、本機の電源を 1~2 時間オンにして充電してください。

衛星受信について

- GPS は、GPS の性能について全責任を負う、米政府によって運営されています。
- GLONASS はロシアが運用している衛星測位システムです。
- 衛星信号は、固体物質 (ガラスを除く) を通過することができません。トンネルや建物の中にいる場合、衛星信号の受信ができません。衛星信号の受信は、悪天候や密集した頭上の障害物 (例えば、樹木、高架橋または高層ビル) などの影響を受ける可能性があります。

本機のお手入れ

- 本機が汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり変形や変質、破損の原因になります。
- レンズ部が汚れている場合には、水を含ませた柔らかい布で軽く拭いてください。乾いた布で強くこすると傷の原因になります。
- ご使用前にブラケットの接着面がはがれていないか、また、ネジの緩みなどがいないことを確認してからご使用ください。

microSD カードについて

本機で使用する microSD カード

- 本機で使用できるのは下記の microSD カードです。

タイプ	microSDHC
容量	16GB～32GB
スピードクラス	Class 10 以上推奨
ファイルシステム	FAT32

- 本機には microSDHC カード (32GB) が同梱されています。

当社推奨 microSD カード

- ケンウッド製 microSDHC メモリーカード(別売品)
詳細は
https://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/option
をご覧ください。
- 市販の microSD カードを使用するときは、microSD カードに付属している取扱説明書もあわせてご確認ください。

microSD カード使用上のご注意

- 16GB 未満の microSD カードを使用する場合、記録が残らない場合があります。
- microSD カードは繰り返しデータを書き換えることにより消耗する特性を持っており、製品寿命があります。定期的に新しい microSD カードと交換することをお勧めします。
- microSD カードは消耗部品です。消耗部品の交換は保証期間内でも有料になります。
- 画面に「SD カードのフォーマット推奨時期です。」というメッセージが表示されたら、必要な録画ファイルがある場合、パソコンなどに保存して microSD カードをフォーマットしてください。メッセージは約 2 週間に 1 度表示されます。
- カメラなど、他の機器で microSD カードのフォーマットを行うと、本機で正常に動作しません。必ず microSD カードのフォーマット(初期化)は本機で行ってください。フォーマットできない microSD カードは使用できません。

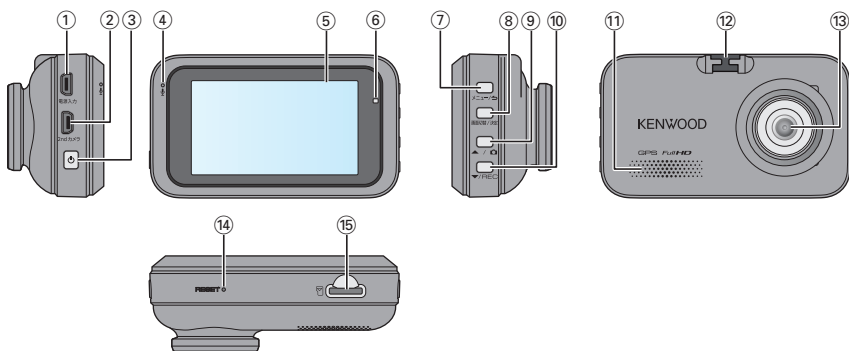
- 本機のデータ読み取りおよび書き込み速度は、microSD カードの仕様によって異なる場合があります。
- 分解や改造を行わないでください。
- microSD カードの上に物を置いたり落としたり、強い衝撃を与えないでください。また、清潔で乾燥した場所に保管し、高温多湿の場所には放置しないでください。
- microSD カードの端子部分を指で触ったり、金属片で引っかいたりしないでください。
- データが壊れる可能性がありますので記録中や再生中に microSD カードを取り出さないでください。
- microSD カードは普通に使用していても正常に書き込みや消去ができなくなる場合があります。
- 必要なファイルは必ずパソコンなどに保存(コピー)してください。
- microSD カードの使用状況によっては、保存内容が失われる可能性があります。保存ファイルが失われたことによる損害については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- microSD カードを着脱するときは、方向を確認し折り曲げたり、強い圧力や衝撃を与えたりしないでください。

ファイルについてのご注意

- microSD カード内の必要なファイルは必ずパソコンなどに早めに保存(コピー)してください。保存ファイルが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- microSD カードのフォーマットを行うと、保護したファイルを含むすべてのファイルが消去されます。
- 本機の microSD カードフォーマットや削除、パソコンの機能によるフォーマットでは、ファイルの管理情報が変更されるだけで、microSD カード内のデータは完全に消去されません。
- 廃棄/譲渡の際は、microSD カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使って microSD カード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
- microSD カード内のデータはおお客様の責任において管理してください。

各部の名称とはたらき

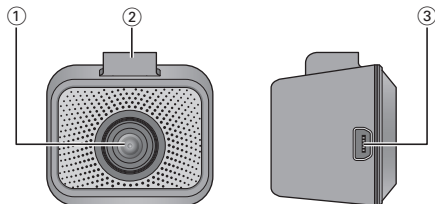
メインユニット



番号	名称	はたらき
①	電源入力端子 (DC5V)	付属のシガープラグコードまたはドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR250/350 (別売品) を接続します。(→ P.20)
②	2nd カメラ接続端子	付属のケーブルを使って2ndカメラと接続します。(→ P.20)
③	電源ボタン	3秒以上押し続けると電源オンになります。電源オンのときに押すと、画面表示がオフになり、もう1度押すと画面表示がオンになります。3秒以上押し続けると電源をオフします。
④	マイク	録画中の音声を収録します。
⑤	LCD 画面	録画画面、再生画面、メニュー画面などを表示します。
⑥	インジケーター	本機の状態をお知らせします。 点灯 (緑) : 録画停止中、駐車録画待機中、メニュー表示中 点滅 (赤橙) : 録画中
⑦	[メニュー / 戻る] ボタン	録画中に押す : メニューを表示します。 メニュー表示中に押す : キャンセル、戻る、または終了ボタンとして機能します。 再生中に押す : 戻るボタンとして機能します。
⑧	[画面切替 / 決定] ボタン	録画中に押す : メインユニットと 2nd カメラの映像を切り替えます。(→ P.27) メニュー表示中に押す : 決定ボタンとして機能します。 再生中に押す : 再生メニューを表示します。(→ P.36)
⑨	[▲ / 撮影] ボタン	録画中に押す : 写真を撮影します。(駐車録画中、メニュー表示中など、画面にカメラアイコンが表示されていないときは写真を撮影できません) (→ P.34) メニュー表示中に押す : カーソルを上移動します。 再生中に押す : 次のファイルを再生します。 再生中に押し続ける : 早戻しします。ボタンを離すと再生に戻ります。

番号	名称	はたらき
⑩	【▼/REC】ボタン	録画中に押す：イベント記録を開始 / 終了します。(→ P.29) メニュー表示中に押す：カーソルを下に移動します。 再生中に押す：前のファイルを再生します。 再生中に押し続ける：早送りします。ボタンを離すと再生に戻ります。
⑪	スピーカー	音声ガイドや警告音、ファイル再生時の音声を出力します。 音量の設定については、「システム設定」の「操作音設定」、「音量設定」をご覧ください。(→ P.43)
⑫	取付ブラケット挿入部	付属の取付ブラケットを取り付けます。(→ P.18)
⑬	カメラレンズ	映像を広角レンズで撮影します。
⑭	RESET ボタン	本機をリセット (再起動) します。(→ P.12) RESET ボタンを押しても、設定や録画・記録したファイルは消去されません。
⑮	microSD カードスロット	録画用の microSD カードを挿入します。(→ P.25) microSD カードスロットに microSD カードが挿入されていないと、本機は正常に動作しません。

2nd カメラ (車外後方撮影用)



番号	名称	はたらき
①	カメラレンズ	映像を広角レンズで撮影します。
②	取付ブラケット挿入部	お買い上げ時、取付ブラケットは挿入されています。 (→ P.19)
③	メインユニット接続端子	付属の車外後方カメラ用ケーブルを使ってメインユニットと接続します。(→ P.20)

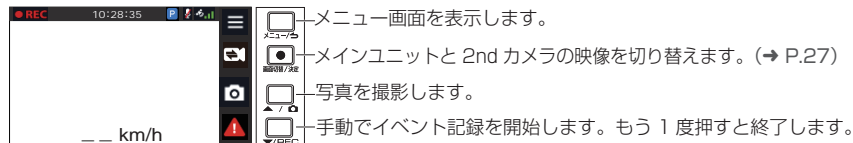
各部の名称とはたらき

操作ボタンとアイコンについて

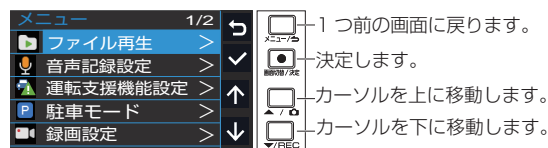
■ 操作ボタン

4つのボタンの機能を画面に表示されるアイコンで表しています。ボタンの機能は表示している画面によって異なります。

録画画面の一例：常時録画

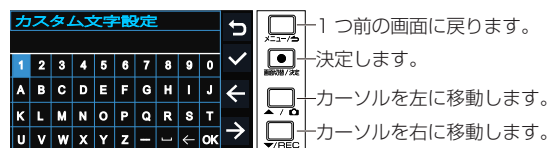


メニュー画面の一例



■ カスタム文字設定

カスタム文字設定画面



設定方法については、43ページをご覧ください。

■ アイコン

本機の動作状態をアイコンで表します。

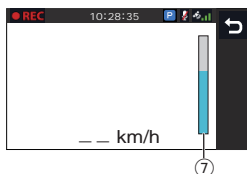
常時録画画面



- ① 録画中に表示され、●(赤)が点滅します。
- ② 現在時刻を表示します。
- ③ 「駐車モード設定」を「オン」に設定したときに表示します。
- ④ 「音声記録設定」を「オフ」に設定したときに表示します。「オン」に設定したときは表示しません。
- ⑤ GPS/GLONASS 受信状態を示します。

アイコン	状態
	信号レベル: 3
	信号レベル: 2
	信号レベル: 1
	信号レベル: 0

駐車録画画面



- ⑥ 現在の車速を表示します。
距離単位はメートル (km/h) またはマイル (mph) から選択できますが、表示を消すことはできません。
- ⑦ 「駐車モード」 — 「検出方法設定」の設定を「動作検出& G センサー」または「動作検出」にした場合の検出レベルを表示します。

取り付け / 配線のしかた

取り付け時のご注意

メインユニット / 2nd カメラ共通

- ・運転者の視界の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ・他の車載機器（安全支援システム用カメラや防眩ルームミラーなど）に影響を与えない位置に取り付けてください。詳しくは車両の取扱説明書を参照してください。
- ・運転やエアバッグ動作の妨げにならないように取り付けてください。
- ・車両のフロントガラス/リアガラスが、反射コーティングで着色されている場合、電波を伝えにくくなり、衛星受信に影響を与える可能性があります。
- ・取り付け後、車両電装品が正常に動くか、必ず動作確認を行ってください。
- ・取り付け後、カメラレンズの保護シートをはがしてください。
- ・ケーブル類は運転操作の妨げにならないようにソフトテープなどでまとめてください。
- ・ケーブルの配線をラジオアンテナの付近で行うと、ラジオの受信感度が下がることがあります。
- ・本機や本機の電源配線を地上デジタルテレビ受信アンテナの近くや、電装品の近くに取り付けおよび配線をしないでください。テレビの受信感度の低下やちらつき、ノイズの原因になる可能性があります。

メインユニット

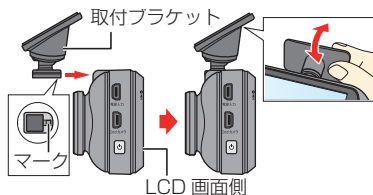
- ・フロントガラスの上部からフロントガラス全体の20%の範囲内、または運転者の前方視界を妨げない位置（ルームミラーで隠れる位置）に取り付けてください。
- ・ルームミラーの操作の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ・車検証ラベルなどに重ならないように取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲に入るように取り付けてください。ガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより、映像が見づらくなる場合があります。

2nd カメラ

- ・直接リアガラスに取り付けてください。
- ・リアガラスに熱線がある場合は、熱線避けて取付ブラケットの接着面を貼り付けてください。
- ・ワイパーが装着されている場合、ワイパーの拭き取り範囲に入るように取り付けてください。ガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより、映像が見づらくなる場合があります。

メインユニットを取り付ける

1. 水平で安全な場所に車両を駐車する
2. 取付ブラケットをメインユニットのブラケット取り付け部に差し込む
フロントガラスに貼り付ける前に大まかな角度調整を行ってから取り付けてください。

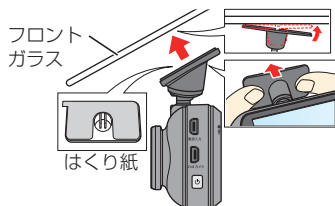


- ・取り付け方向を間違えると、正しい角度でメインユニットを取り付けることができません。上の図のようにマークがLCD画面側になるように取付ブラケットをメインユニットに取り付けてください。

3. メインユニットの推奨取り付け位置（→ P.21）を参考にしてメインユニットの取り付け位置を決める
4. 市販のクリーニングクロスなどで取り付け場所の汚れや脂分をきれいに拭き取る

5. 取付ブラケットの両面テープのはくり紙をはがし、フロントガラスに押しつけて取付ブラケットを貼り付ける

気泡が入らないように貼り付けてください。

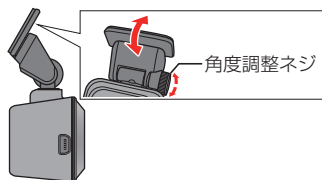


- 粘着テープの取り付け強度を強くするため、取り付け後 24 時間以上放置してから使用してください。

2nd カメラを取り付ける

1. リアガラスに貼り付ける前に角度調整ネジを緩めて、大まかな角度調整を行う

角度調整が終了した後は、緩めたネジを締め直してください。配線後に実際の映像を見ながら再調整してください。

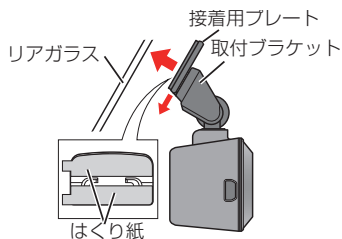


2. 2nd カメラの推奨取り付け位置 (→ P.22) を参考にして 2nd カメラの取り付け位置を決める

3. 市販のクリーニングクロスなどで取り付け場所の汚れや脂分をきれいに拭き取る

4. 取付ブラケットから接着用プレートを取り外し、両面テープのはくり紙をはがし、リアガラスに押しつけて貼り付ける

2nd カメラ用の取付ブラケットは、取り付け後に上下方向の角度調整はできますが、左右方向の角度調整はできませんので注意してください。



5. 取付ブラケットを接着用プレートに取り付ける

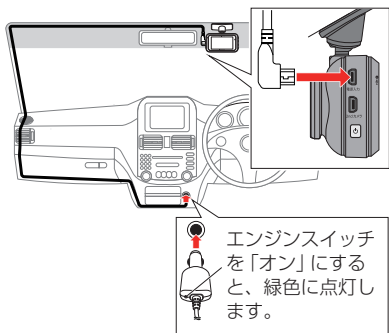


- 熱線に接着用プレートの両面テープを貼り付けしないでください。両面テープをはがす際、熱線を破損させるおそれがあります。
- 粘着テープの取り付け強度を強くするため、取り付け後 24 時間以上放置してから使用してください。

取り付け / 配線のしかた

接続する

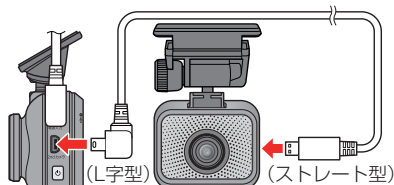
1. 付属のシガープラグコードをアクセサリーソケットに接続してメインユニットに電源コードを接続し、配線する



シガープラグには 12V から 5V に変換する回路が内蔵されています。シガープラグの改造、加工は故障の原因となりますので、絶対に行わないでください。

2. 付属の車外後方カメラ用ケーブルで 2nd カメラとメインユニットを接続し、配線する (→ P.22)

コネクタの形状 (L 字型 / ストレート型) を確認してください。



メインユニット 2nd カメラ

3. エンジンスイッチを「オン」にする

4. [画面切替 / 決定] ボタンを押して、メインユニットの映像に切り替える (→ P.27)

5. メインユニットの角度を調整する
地上と空の比率が約 5 対 5 になることを推奨します。



6. [画面切替 / 決定] ボタンを押して、2nd カメラの映像に切り替える (→ P.27)

7. 画面を見ながら、2nd カメラの取り付け角度を再調整する
地上と空の比率が約 5 対 5 になることを推奨します。



8. カメラレンズの保護シートをはがす



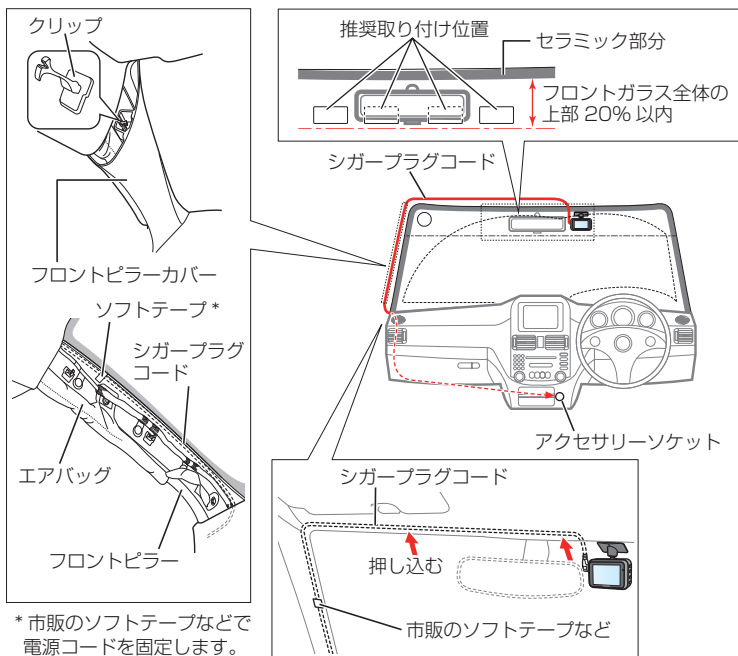
9. エンジンスイッチで電源を入れ直す
メインユニットの角度調整を行ったときは、必ずエンジンスイッチで電源を入れ直してください。調整した角度は電源が入ったときに記憶されます。

10. エンジンスイッチを「オフ」にする

推奨取り付け位置

■ メインユニット

シガープラグコードの配線の引き回しを行ってください。

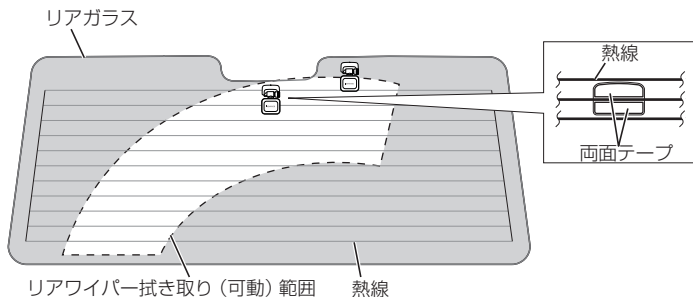


- 国土交通省の定める保安基準* に適合するように取り付けください。
* 保安基準：道路運送車両の保安基準第 29 条（窓ガラス）
- ケーブル・コード類は運転やエアバッグ動作の妨げにならないように注意して取り付けください。
- フロントピラーカバーが特殊クリップなどで固定されている車両の場合は、フロントピラーカバーを外すとクリップの交換が必要となる場合があります。フロントピラーカバーの外しかたや交換部品の有無など、詳しくは車両販売店にお問い合わせください。
- ケーブル・コード類は運転操作の妨げにならないように市販のソフトテープなどでまとめてください。
- 地デジや ETC 等のケーブル・コードといっしょに束ねないようにしてください。
- ケーブル・コードの配線をラジオアンテナの付近で行うと、ラジオの受信感度が下がることがあります。

取り付け / 配線のしかた

■ 2nd カメラ

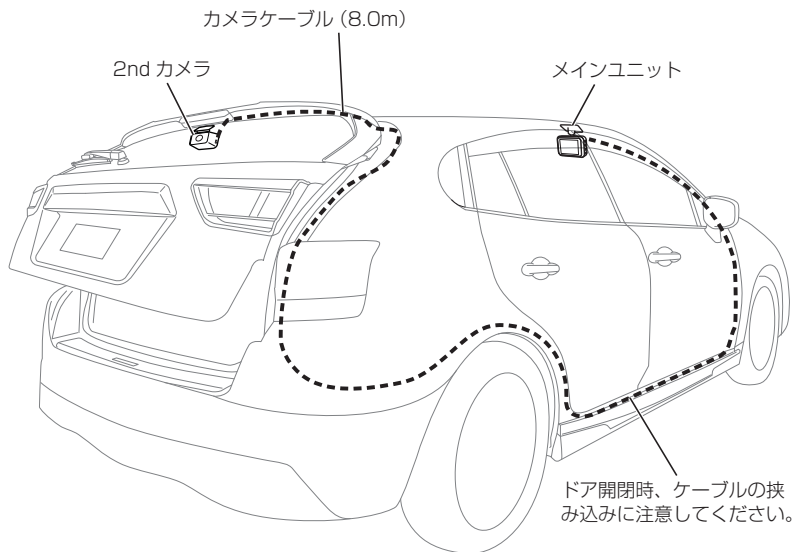
リアガラスに熱線がある場合は、熱線に取付ブラケットの両面テープを貼り付けしないでください。両面テープをはがす際、熱線を破損させるおそれがあります。取付ブラケットに貼られている両面テープには、熱線を避けるために隙間が設けられています。



- ・リアガラスにフィルムが貼られている場合、フィルムの上から取り付けると、衝撃を受けた際にフィルムごと外れる可能性があります。本機を使用する場合は、フィルムを貼らないでください。

● ケーブルの引き回し例

ケーブルを引き回すときは、21 ページの注意事項もご覧ください。



車載電源ケーブル CA-DR250 (別売品) で接続する

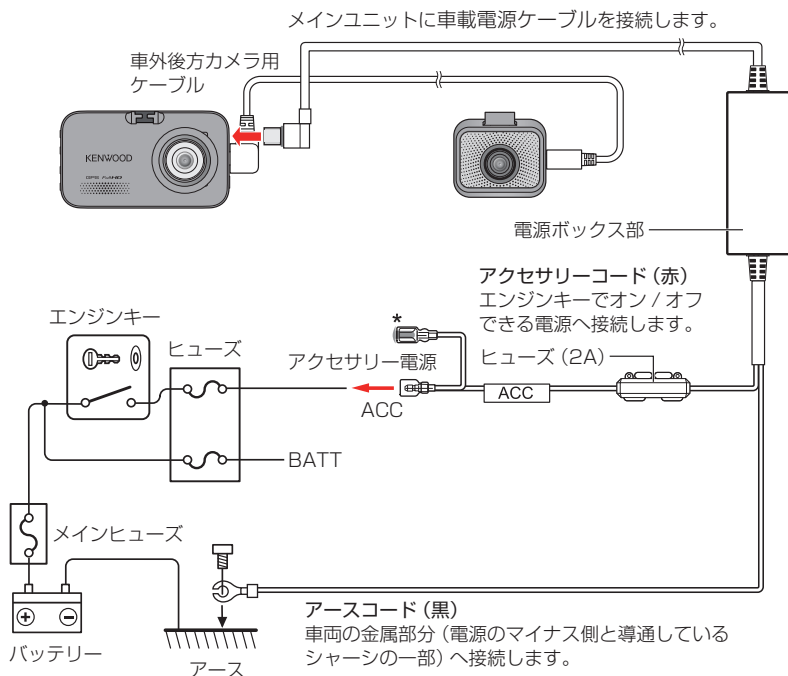
シガープラグ(アクセサリソケット)を使用せずに接続できます。CA-DR250(別売品)では駐車録画機能は有効になりませんので、駐車録画機能を有効にしたい場合はCA-DR350(別売品)で接続してください。(→ P.24)



- 接続をする前に車載電源ケーブル CA-DR250 (別売品) に付属の取扱説明書に記載されている「安全上のご注意」、「使用上のご注意」をよくお読みいただき安全に取り付けてください。

1. 配線する

■ 配線のしかた (CA-DR250)



* アクセサリコードが接続できます。
接続しない場合はキャップを外さないでください。

取り付け / 配線のしかた

車載電源ケーブル CA-DR350 (別売品) で接続する (駐車録画機能を使う場合の接続方法)

CA-DR350 (別売品) で接続して、「駐車モード設定」を「オン」にすると、エンジンキーをオフ後に駐車録画機能が有効になります。(→ P.30)



- ・接続をする前に車載電源ケーブル CA-DR350 (別売品) に付属の取扱説明書に記載されている「安全上のご注意」、「使用上のご注意」をよくお読みいただき安全に取り付けてください。

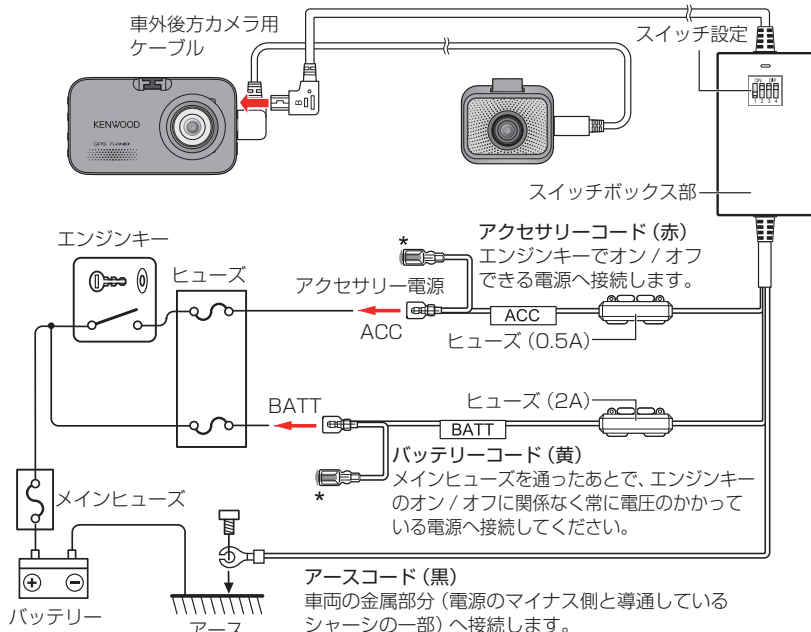
1. 「電圧カットオフ値設定」と「オフタイマー設定」を行う

CA-DR350 (別売品) に付属の取扱説明書を参照して、「スイッチ設定」を行ってください。

2. 配線する

■ 配線のしかた (CA-DR350)

メインユニットに車載電源ケーブルを接続します。



* アクセサリ/バッテリーコードが接続できます。
接続しない場合はキャップを外さないでください。

ご使用の前に

ご使用の前に、角度調整ネジの緩み、両面テープのはがれなどが無いが、定期的に点検を行ってください。

運転の妨げや事故の原因となることがあります。

電源をオン / オフする

車両のエンジンスイッチを「ACC」または「オン」にすると、本機の電源がオンになり常時録画が始まります。エンジンスイッチを「オフ」にすると電源がオフになります。

● 本機の電源を手動でオフにする

本機の電源がオンのときに電源ボタンを3秒以上押し続けると、電源がオフになります。

● 本機の電源を手動でオンにする

本機の電源がオフのときに電源ボタンを3秒以上押し続けると、電源がオンになります。



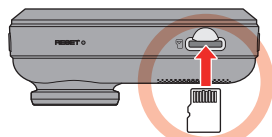
- ・エンジンスイッチがオフのときには手動で電源をオンにできません。

microSD カードを入れる / 取り出す

microSD カードを出し入れするときは、データの破損・消失防止のため、microSD カードと通信をしていないメニュー表示中や電源オフ中に行ってください。

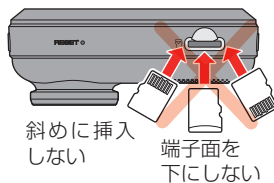
● microSD カードを入れる

microSD カードを microSD カードスロットにカチッと音がするまで挿入します。カードの向きに注意してください。



microSDHC ロゴのある面をレンズ側にして、端子面から挿入する

● 間違った入れかた



斜めに挿入しない

端子面を下にしない

向きを間違えない



- ・microSD カードスロットに microSD カードが挿入されていないと、本機は正常に動作しません。

● microSD カードを取り出す

microSD カードを押して、microSD カードが少し飛び出したら引き抜きます。

ご使用の前に

microSD カードをフォーマットする



- フォーマットしても microSD カードエラーが表示され続ける場合は、新しい microSD カードと交換してください。

本機では約 2 週間に 1 度 microSD カードのフォーマットを推奨するメッセージが表示されます。「SD カードのフォーマット推奨時期です。」と表示されたら、必ず本機でフォーマットを行ってください。

microSD カードのフォーマットを行うと、すべてのファイルが消去されるため、保存しておきたいファイルがある場合はフォーマットする前にファイルをパソコンなどに保存しておいてください。

1. [メニュー/↵] ボタンを押す

メニューが表示されます。



2. microSD カードを microSD カードスロットに入れる

3. [▲/📷] ボタンまたは [▼/REC] ボタンで「フォーマット」を選択し、[画面切替 / 決定] ボタンを押す



メッセージが表示されます。

4. [画面切替 / 決定] ボタンを押す

microSD カードがフォーマットされます。

録画する・写真を撮影する

本機には、電源オン時に「常時録画」、「イベント記録」、「イベント記録の手動録画」、「写真撮影」の録画機能があります。

車両のエンジン「オフ」時に「駐車録画」の機能があります。

音声を記録するかしないか、メニューの「音声記録設定」で選ぶこともできます。(→ P.41)

画質の種類

解像度(画質)は「1080p」/「720p」から設定することができます。

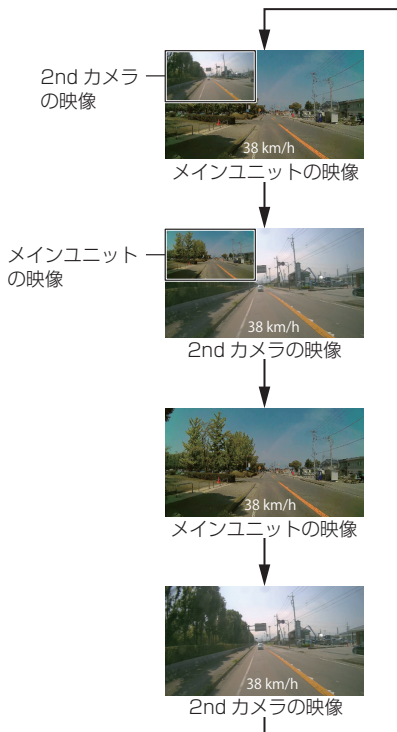
お買い上げ時は「1080p」に設定されています。(→ P.42)



録画可能時間は解像度の設定によって変わります。(→ P.32)

「HDR」、「明るさ」の設定で撮影するときの映像の状態を調整することもできます。(→ P.42)

メインユニットと2ndカメラの映像を切り替える

[画面切替/決定] ボタンを押すたびに映像は下記の順番で切り替わります。



2ndカメラが接続されていないとき、または2ndカメラが認識されていないときは、ボタンガイドのアイコンが「」になっています。この表示のときは映像を切り替えることはできません。また、画面には「」が表示されます。

2ndカメラの映像について

- ・録画時：左右反転している鏡像(バックミラーと同じ)になります。
- ・再生時：正像で再生します。

録画する・写真を撮影する

常時録画面面のアイコン



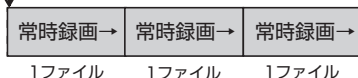
番号	表示	説明
①	● REC	録画アイコン(録画中、●アイコンが点滅します)
②	時:分:秒	現在時刻を表示します
③	P	「駐車モード」→「駐車モード設定」を「オン」に設定すると、Pアイコンが表示されます
④	音声記録 オフ	「音声記録設定」が「オフ」のときに表示されます
⑤	衛星受信状態	衛星の受信状態を表示します
⑥	ボタン ガイド	ボタンのガイドを表示します。 :2ndカメラが接続されています :2ndカメラが接続されていません イベント記録の場合 :手動録画を開始します :手動録画を終了します
⑦	km/h または mph	現在の車速を表示します
⑧	(緑色)	「エコドライブ表示設定」を「オン」にしていると、アイコンを表示します(走行中の加速時/減速時のG値を検出してアイコンが切り替わります)
	(黄色)	
	(赤色)	

常時録画

本機の電源がオンになると、常時録画を開始します。常時録画は1ファイルごとの録画時間に分割して録画し、microSDカードの録画領域がなくなると、古いファイルから上書きして常時録画を続けます。

1ファイルごとの録画時間は1分です。

電源オン



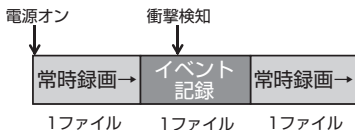
録画ファイルの保存場所

常時録画のファイルは、microSDカード内の「Video」フォルダに保存されます。(→ P.47)

常時録画の画質	お買い上げ時は「1080p」に設定されています。設定については、「録画設定」の「解像度設定」をご覧ください。(→ P.42)
常時録画の最大録画時間	microSDカード容量ごとの録画時間の目安については、32ページをご覧ください。

イベント記録

常時録画中に突発的な衝撃や予期しない衝突などを検知してイベントを記録します。イベント記録が終了すると常時録画に戻ります。衝撃を検知した時点の常時録画ファイルがイベント記録ファイルとして保存されます(常時録画のファイルとしては残りません)。1ファイルごとの録画時間は最大1分です。イベント記録は手動で記録することもできます。



「イベント記録」が表示されます

録画ファイルの保存場所

イベント記録のファイルは、microSDカード内の「Event」フォルダに保存されます。(→ P.47)



- ・ イベント記録が記録されたときは、上書きしないように本機の電源を「オフ」にして microSD カードをすぐに抜いてください。
- ・ イベント記録が記録されたときは、イベント記録ファイルの後の常時録画ファイルにもイベント記録の映像が含まれていることがありますので、常時録画のファイルも必ずイベント記録ファイルと一緒に保存してください。
- ・ 録画領域がなくなると、「イベント記録用の空き容量不足のため、ファイルの古い順で上書きをします。」が表示され、古いファイルから自動で上書きされます。必要なファイルがある場合はパソコンなどに保存してください。

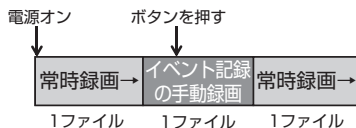
衝撃を検知する
感度

お買い上げ時は「4」に設定されています。設定については、「録画設定」の「イベント感度設定」をご覧ください。(→ P.43)

■ イベント記録を手動で開始する(手動録画)

常時録画中に [▼/REC] ボタンを押すと、常時録画を中断してイベント記録を手動で開始します。イベント記録が終了すると常時録画に戻ります。

1ファイルの録画時間は最大1分です。



「イベント記録」が表示されます

録画ファイルの保存場所

イベント記録の手動録画ファイルは、microSDカード内の「Event」フォルダに保存されます。(→ P.47) 保存したい映像が「Event」フォルダに含まれていない場合は、直後に作成された「Video」フォルダも確認してください。



- ・ 録画が終了する前にもう1度 [▼/REC] ボタンを押すと、録画は解除され、録画ファイルはその時点で終了します。
- ・ メニュー表示中、駐車録画中など「△」アイコンが表示されていないときはイベントの手動録画はできません。
- ・ 録画領域がなくなると、「イベント記録用の空き容量不足のため、ファイルの古い順で上書きをします。」が表示され、古いファイルから自動で上書きされます。必要なファイルがある場合はパソコンなどに保存してください。

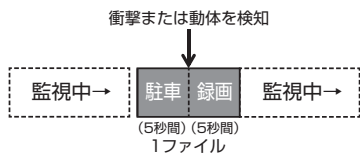
録画する・写真を撮影する

駐車録画

駐車録画機能を使用するには、ドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR350(別売品)の電源接続とオフタイマー設定を6時間、12時間、または24時間にする必要があります。詳細はCA-DR350の取扱説明書を参照して下さい。

さらに、本機の「駐車モード設定」を「オン」にする必要があります。(→ P.31)

エンジンをオフにして約5分間車両に振動が加わらなかった場合に、駐車モードの監視が始まります。駐車モードでは車両の衝撃およびレンズ範囲内の動体を監視します。監視中に車両への衝撃または動体を検知すると、駐車録画を開始します。駐車録画ファイルの録画時間は10秒間(検知前5秒間と検知後5秒間)です。



録画ファイルの保存場所

駐車録画のファイルは、microSDカード内の「Parking」フォルダに保存されます。(→ P.47)



- ・駐車録画中に継続的に衝撃が加わった場合は、駐車モードから常時録画に切り替わります。その後、約5分間車両に振動が加わらなかった場合は、駐車モードの監視が再び始まります。
- ・駐車録画が終了する前にさらに衝撃または動体を検知すると駐車録画が最大1分間まで延長されます。
- ・車両のエンジンを「オフ」にしてから駐車モードの監視が始まるまでの約5分間は常時録画として録画されます。
- ・ドアを閉めたときの振動を検知して駐車録画が開始することがあります。
- ・駐車モード中は電力消費を抑えるため、衛星受信を止めています。
- ・車両のエンジンスイッチをオフにする前に、本機の電源ボタンで電源をオフにしたときは、駐車録画は動作しません。
- ・車両バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合、駐車録画は動作しないことがあります。
- ・録画領域がなくなると、録画ファイルは古いファイルから上書きされます。必要なファイルがある場合はパソコンなどに保存してください。

駐車録画機能をオンにする

駐車録画機能をオンに設定するとき、途中で「記憶域の割り当て」の設定が必要になり、microSD カードのフォーマットを行います。保存したいファイルがあるときはパソコンなどにファイルを保存してから設定を行ってください。



- お買い上げ時は「LCD 表示時間設定」が「常時表示」に設定されているので、駐車モード中も本機の画面が表示されたままになります。画面をオフにしたい場合は、「LCD 表示時間設定」を変更してください。(→ P.45)

1. [メニュー/☰] ボタンを押す

メニューが表示されます。



2. [▲/📷] ボタンまたは [▼/REC] ボタンで「駐車モード」を選択し、[画面切替 / 決定] ボタンを押す



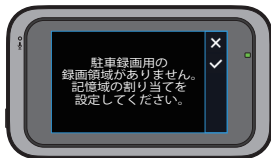
3. [▲/📷] ボタンまたは [▼/REC] ボタンで「駐車モード設定」を選択し、[画面切替 / 決定] ボタンを押す



4. [▲/📷] ボタンまたは [▼/REC] ボタンで「オン」を選択し、[画面切替 / 決定] ボタンを押す



「駐車録画用の録画領域がありません。記憶域の割り当てを設定してください。」と表示されます。



録画する・写真を撮影する

5. [画面切替 / 決定] ボタンを押す

駐車モードを使用するには [▲/📷] ボタンで「1/3」、または [▼/REC] ボタンで「3/3」に変更してください。

お買い上げ時は「2/3」に設定されています。

記録時間および写真撮影枚数は目安です。撮影するシーンによって短くなる場合があります。

容量で割り当てる (1/3) 駐車モードを使用しない (2/3) ファイル数で割り当てる (3/3)



● 録画時間の目安

記録時間はメインユニットと 2nd カメラで同時に撮影したときの時間です。

記憶域の割り当て	microSD カード容量	解像度設定	常時録画	イベント 記録	駐車録画	写真
1/3 容量で割り当て	16GB	1080p	約 45 分	約 5 分	約 5 分	約 40 枚
		720p	約 75 分	約 10 分	約 10 分	約 60 枚
	32GB	1080p	約 90 分	約 10 分	約 10 分	約 70 枚
		720p	約 150 分	約 20 分	約 20 分	約 100 枚
2/3 駐車モードを使用 せず、容量で割り 当て (お買い上げ時の 設定)	16GB	1080p	約 45 分	約 10 分	駐車録画の 記憶領域は ありません	約 40 枚
		720p	約 75 分	約 20 分		約 60 枚
	32GB	1080p	約 90 分	約 20 分		約 70 枚
		720p	約 150 分	約 40 分		約 100 枚
3/3 ファイル数で 割り当て	16GB	1080p	約 35 分 *	20 ファイル	10 ファイル	10 ファイル
		720p	約 75 分 *	20 ファイル	10 ファイル	10 ファイル
	32GB	1080p	約 90 分 *	20 ファイル	10 ファイル	10 ファイル
		720p	約 170 分 *	20 ファイル	10 ファイル	10 ファイル

* 常時録画の記録可能時間は microSD カードの残り容量で変わります。



- ・「記憶域の割り当て」の設定変更は、メニューの「システム設定」→「記憶域の割り当て」から行います。(→ P.44)
- ・割り当てを変更すると、microSDカードがフォーマットされるため、microSDカード内の録画ファイルが消去されます。設定を変更する前に必要な録画ファイルをパソコンなどに保存してから設定を変更してください。
- ・写真の解像度は、メニューの「録画設定」→「解像度設定」で確認できます。(→ P.42)

6. 「SDカードをフォーマットします。全てのデータが消去されますが続けますか?」と表示されたら、[画面切替/決定] ボタンを押す

フォーマットが開始され、「駐車モード」が「オン」に設定されます。メニュー画面に「駐車モード起動」という項目が表示されます。



監視・検出方法

「駐車モード」の「検出方法設定」、「自動起動設定」、「動作検出感度設定」、「衝撃検出感度設定」で設定できます。(→ P.42)

手動で駐車モードを起動する

駐車モードは手動で起動することも可能です。メニューで「駐車モード」→「駐車モード設定」を「オン」に設定しておく、メニューに「駐車モード起動」という項目が表示されるようになります。

1. [メニュー/☰] ボタンを押す
メニューが表示されます。



2. [▲/📷] ボタンまたは [▼/REC] ボタンで「駐車モード起動」を選択し、[画面切替/決定] ボタンを押す
駐車モードが起動し、監視を開始します。



● 駐車モードを手動で解除する

駐車モード中に [メニュー/☰] ボタンを押すと、駐車モードは以下のように動作します。

駐車録画中のとき：

- ① 「駐車録画を撮影しました。再生しますか?」と5秒間表示され、記録が停止します。
- ② メッセージ表示後に「2台のカメラで記録を開始します」と表示され、常時録画を開始します。
 - ・5秒以内に「メニュー/☰」ボタンを押しても「2台のカメラで記録を開始します」と表示され、常時録画を開始します。
 - ・5秒以内に「画面切替/決定」ボタンを押すと駐車録画ファイル選択画面を表示します。

録画する・写真を撮影する

駐車監視中のとき：

- ① 「駐車モードで待機中ですが、終了してもよろしいですか？」と5秒間表示され、駐車監視が解除されます。
- ② メッセージ表示後に「2台のカメラで記録を開始します」と表示され、常時録画を開始します。
 - ・5秒以内に「画面切替 / 決定」ボタンを押しても「2台のカメラで記録を開始します」と表示され、常時録画を開始します。
 - ・5秒以内に「メニュー / 戻る」ボタンを押すと、再び駐車モードになります。

写真を撮影する（静止画記録）

録画中に [▲/📷] ボタンを押すと、写真を撮影します。

記録領域がなくなると、古いファイルから自動で上書きされます。



カメラアイコン

写真の保存場所

写真は、microSD カード内の「Photo」フォルダに保存されます。(→ P.47)



- ・録画中に写真を撮影しても録画は中断されません。
- ・メニュー表示中、駐車録画中などカメラアイコンが表示されていないときには写真を撮影できません。

写真の解像度	お買い上げ時は「1080p」に設定されています。設定については、「録画設定」の「解像度設定」をご覧ください。(→ P.42)
--------	--

再生する

再生画面のアイコン

再生時の2ndカメラ映像は、録画中の画面表示と異なりカメラ撮影時と同じ正像で再生されます。



番号	表示	説明
①	録画の種類	録画の種類を表示します
②	年:月:日:時: 分:秒	録画日時を表示します
③	ファイルの順番/ ファイル総数	録画ファイルの最新ファイルからの順番/ファイル総数を表示します
④	ボタンガイド	ボタンのガイドを表示します
⑤	<input checked="" type="checkbox"/> デュアル映像アイコン	メインユニットと2ndカメラの2つの映像が録画されています
⑥	イベント記録アイコン	イベント記録のファイル

ファイルを再生する

録画ファイルや写真ファイルなどのファイルを選択して再生します。

1. [メニュー/≡] ボタンを押す
メニューが表示されます。



2. [▲/📷] ボタンまたは [▼/REC] ボタンで「ファイル再生」を選択し、[画面切替/決定] ボタンを押す
3. [▲/📷] ボタンまたは [▼/REC] ボタンで再生したいフォルダを選択し、[画面切替/決定] ボタンを押す



それぞれのフォルダには以下のファイルが保存されています。

常時録画	常時録画されたファイル
イベント記録	イベント記録されたファイルと手動で録画されたイベント記録のファイル
駐車録画	駐車録画されたファイル
写真	撮影した写真（静止画記録）のファイル

選択したフォルダ内にある最新のファイルがサムネイル表示されます。



- ファイルは、録画または撮影した時間順に並びます。

再生する

4. [▲/📷] ボタンまたは [▼/REC] ボタンで再生したいファイルを選択し、[画面切替 / 決定] ボタンを押す
 選択したファイルの再生が始まります。



2. [▲/📷] ボタンまたは [▼/REC] ボタンで操作したい項目を選択し、[画面切替 / 決定] ボタンを押す



再生メニューでは以下の操作ができます。

再生中に他のファイルを選択する	[▼/REC] ボタンを押すと前のファイル、[▲/📷] ボタンを押すと次のファイルを再生します。
早戻し / 早送り	[▲/📷] ボタンを2秒以上押し続けると、早戻しします。[▼/REC] ボタンを2秒以上押し続けると、早送りします。ボタンを離すと、再生に戻ります。

再生 / 一時停止	「画面切替 / 決定」ボタンを押すと表示中のファイルを再生 / 一時停止します。 ※「写真」ファイルの再生中は表示されません。
2nd カメラ映像再生 / メインカメラ映像再生	「画面切替 / 決定」ボタンを押すとメインユニットと2nd カメラの映像を切り替えます。 ※2nd カメラを接続しないで録画したファイルの場合は表示されません。
2nd カメラ写真再生 / メインカメラ写真再生 (写真ファイル再生時)	
イベントフォルダへ移動	「画面切替 / 決定」ボタンを押すと表示中のファイルを「Event」フォルダに移動します。 ※「常時録画」ファイルの再生中のみ表示されます。
削除	「画面切替 / 決定」ボタンを押すと「削除しますか?」と表示されます。もう1度「画面切替 / 決定」ボタンを押すと表示中のファイルが削除されます。

再生メニューの操作


1. ファイルの再生中に [画面切替 / 決定] ボタンを押す

再生メニューが表示されます。



運転支援機能を使う

本機のメインユニットには5つの運転支援機能があります。運転支援機能を使用するには、各機能の設定を「オン」に変更する必要があります。(→ P.39)

機能/画面表示	機能説明
車線逸脱警告* 	走行中の車線を逸脱したときに警告音を鳴らし、画面にアイコンを表示します。 60km/h以上で走行中に動作します。速度が60km/h未満のとき、逆光、雨天、走行レーンの汚れなど、条件によっては正しく動作しません。
前方衝突警告* 	走行中に前方車両と約5km/h以上の速度差がある状態で接近した場合、警告音を鳴らして画面にアイコンを表示します。
リフレッシュ通知* 	録画開始から設定した時間(2時間/3時間/4時間)になると音声で「長時間の運転が続いています。そろそろ休憩しませんか?」と通知して、画面にアイコンを表示します。 録画開始からの時間をカウントしているため、録画を中止するとカウントはリセットされます。
エコドライブ表示設定 	走行中の加速/減速によるG値を検出して、3段階でエコ運転診断を行い、画面に3色の葉の形をしたアイコンを表示します。 緑色：エコドライブ状態 黄色：普通の走行状態 赤色：加速/減速が激しい場合
発進遅れ警告* 	信号などで停車中に前方車両が発進して離れてしまったときに約3秒後に警告音を鳴らして、画面にアイコンを表示します。 交差点などで先頭に停車した場合、前方を横切る人や車両に反応する場合もあります。

* 警告音 / 音声の音量を調整したいときは「システム設定」の「音量設定」で調整してください。(→ P.43)

運転支援機能を使う

運転支援機能についてのご注意

- ・車両を平らで見通しの良いところに駐車して、カメラの角度と向きを必ず調整してください。また、カメラの位置がずれると、運転支援機能は正しく動作しません。調整後はカメラをしっかりと固定してください。
- ・運転中にドライバーが調整することは絶対にししないでください。安全な場所に停車して調整するか、同乗者が調整するようにしてください。
- ・運転支援機能はドライバーの運転をサポートするもので、事故を未然に防ぐものではありません。また、すべての危険を警報するものではありません。
- ・運転時は交通ルールを守り、前方車両との車間距離や周囲の状況、運転環境に注意し、必要に応じてブレーキをかけるなど安全運転に努めてください。また、本機の取扱説明書に従って正しく使用していた場合でも、動作を完全に保証するものではありません。万が一、それに伴う損失が発生しても当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ・車線逸脱警告はウィンカーと連動しないため、本機の仕様上、道路で車線を変更するときにも警告音が鳴ります。
- ・以下のような場合は、運転支援機能が正しく動作しない場合があります。
 - 舗装の劣化や降雨時の反射、建物の影などにより車線が正しく認識できない場合。
 - 前方車両の形状や色、光の加減などによって認識できない場合。
 - 天候（雨・雪・濃霧・ワイパーの使用など）、時間帯（朝方・夕方・夜間など）、逆光、交通状況（渋滞・歩行者など）による変化。
 - フロントガラスに映り込みがあると正しく動作しないことがあります。ダッシュボードに物などを置かないでください。

メインユニットのカメラ位置とボンネット位置を調整する

「車線逸脱警告」、「前方衝突警告」、「発進遅れ警告」を使用する場合は、「カメラ位置調整」の設定が必要です。

1. 見通しの良い、平らで安全な場所に車両を停車する

2. [メニュー/☰] ボタンを押す メニューが表示されます。



3. [▲/📷] ボタンまたは [▼/REC] ボタンで「運転支援機能設定」を選択し、[画面切替/決定] ボタンを押す



4. [▲/📷] ボタンまたは [▼/REC] ボタンで「カメラ位置調整」を選択し、[画面切替/決定] ボタンを押す



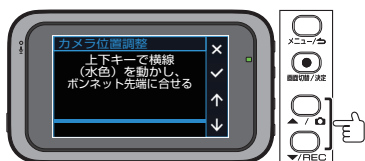
5. メインユニットの位置を合わせる

メインユニットを上下に傾けて、赤線を道の先端（地平線）に合わせます。メインユニットを左右に動かして、緑線が走行車線の中心にくるように合わせて「画面切替 / 決定」ボタンを押します。



6. ボンネットの位置を合わせる

画面に表示されている横線（水色）がボンネットの先端に合うように、「[▲/📷]」ボタンまたは「[▼/REC]」ボタンで調整して「画面切替 / 決定」ボタンを押します。



- ・ボンネットが見えない場合は、停車時に前方約 3 m先の路面に横線（水色）が合うように調整してください。

7. 「画面切替 / 決定」ボタンを押す

カメラ位置とボンネット位置の調整が完了します。

運転支援機能をオン / オフする

1. 「メニュー / 📄」ボタンを押す

メニューが表示されます。



2. 「[▲/📷]」ボタンまたは「[▼/REC]」ボタンで「運転支援機能設定」を選択し、「画面切替 / 決定」ボタンを押す



3. 「[▲/📷]」ボタンまたは「[▼/REC]」ボタンでオンにしたい運転支援機能を選択し、「画面切替 / 決定」ボタンを押す



4. 「[▲/📷]」ボタンまたは「[▼/REC]」ボタンで「オン」を選択し、「画面切替 / 決定」ボタンを押す

運転支援機能の設定が完了します。



- ・リフレッシュ通知機能をオンにするときは、「2 時間」、「3 時間」、「4 時間」のいずれかを選びます。
- ・リフレッシュ通知機能のタイマーカウントは、メニューを表示するなど、常時録画が停止した場合は、リセットされます。

5. 他の機能を設定する場合は、手順 3 と 4 を繰り返す

設定を変更する

各機能を設定する

本機の設定を変更することができます。

1. [メニュー/] ボタンを押す

メニューが表示されます。



2. [▲/] ボタンまたは [▼/REC] ボタンで設定したいメニューを選択し、[画面切替 / 決定] ボタンを押す

選択したメニューが表示されます。



3. [▲/] ボタンまたは [▼/REC] ボタンで設定したい項目を選択し、[画面切替 / 決定] ボタンを押す

選択した項目が表示されます。



4. [▲/] ボタンまたは [▼/REC] ボタンで設定を選択し、[画面切替 / 決定] ボタンを押す

設定が完了します。



各項目の内容については、「メニューの一覧」を参照してください。(→ P.41)



- ・ 常時録画に戻るには、[メニュー/] ボタンを録画画面になるまで押します。

メニューの一覧

■ ファイル再生

*お買い上げ時の設定

項目	設定	説明
常時録画*	—	フォルダを選択して目的のファイルを再生します。また、ファイル再生中には、ファイルの移動、メインユニットの映像と 2nd カメラの映像の切り替え、削除などを行うことができます。(→ P.36)
イベント記録		
駐車録画		
写真		

■ 駐車モード起動

「駐車モード」-「駐車モード設定」を「オン」に設定したときに「駐車モード起動」が表示されます。

項目	設定	説明
駐車モード起動	—	[画面切替/決定]ボタンを押すと駐車モードが起動し、駐車モードの監視が始まります。

■ 音声記録設定

項目	設定	説明
音声記録設定	オン* オフ	録画時の音声記録機能の設定をします。

■ 運転支援機能設定

項目	設定	説明
カメラ位置調整	—	運転支援機能を正しく機能させるためにメインユニットの位置を調整します。(→ P.38)
車線逸脱警告	オン オフ*	走行中に車線を逸脱したときに警告音と警告表示でお知らせする機能を設定します。
前方衝突警告	オン オフ*	走行中、前方車両に接近したときに警告音と警告表示でお知らせする機能を設定します。
リフレッシュ通知	2 時間 3 時間 4 時間 オフ*	設定された時間毎に音声と表示(アイコン)でお知らせします。
エコドライブ表示設定	オン オフ*	走行時の G 値を検出して、3 段階でエコ運転診断を行い、3 色(緑色、黄色、赤色)のアイコンでお知らせする機能を設定します。
発進遅れ警告	オン オフ*	停車時に前方車両が発進して離れてしまったときに警告音と警告表示でお知らせする機能を設定します。

設定を変更する

■ 駐車モード

「駐車モード設定」を「オン」にすると、「検出方法設定」、「自動起動設定」、「動作検出感度設定」、「衝撃検出感度設定」の設定ができます。


項目	設定	説明
駐車モード設定	オン オフ*	駐車モード機能を設定します。
検出方法設定	動作検出& G センサー* G センサー 動作検出	駐車モードの録画記録を開始する検知方法を設定します。 G センサー：車両の衝撃を検知します。 動作検出：レンズ範囲内の動体を検知します。「動作検出 & G センサー」または「動作検出」を選択すると、検出レベルを表示します。検出レベルが最大になったときに録画を開始します。
自動起動設定	入りやすい 普通* 入りにくい 手動	駐車モードを自動で起動させるセンサー感度および駐車時の常時録画に戻るときのセンサー感度を設定します。 入りやすい：駐車モードが起動しやすいが、常時録画に戻りにくい 入りにくい：駐車モードが起動しにくい、常時録画に戻りやすい 手動：手動で駐車モードを起動するときに選びます。
動作検出感度設定	低 普通* 高	レンズ範囲内の人や車両の動きなどを検知する感度を設定します。 低 (検知しにくい) ↔ 高 (検知しやすい)
衝撃検出感度設定	低 普通* 高	駐車モードのときに本機に加わる衝撃の感度：「低」(G 値:0.4G) ~ 「高」(G 値:0.2G) を設定します。 低 (検知しにくい) ↔ 高 (検知しやすい)



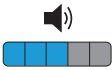
・駐車録画機能を有効にするには、ドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR350 (別売品) の電源接続が必要になります。(→ P.24)

■ 録画設定

項目	設定	説明
解像度設定	1080p* 720p	常時録画 / イベント記録 / 駐車録画 / 写真の画質を設定します。
HDR	オン* オフ	明暗差が大きなシーンでも白トビや黒つぶれを軽減する機能を設定します。
リアスモークガラス	無し* 薄め 濃いめ	リアガラスの色の濃さに合わせて記録映像の明るさを設定します。
明るさ	-1..0*..1	記録される映像の露出 (明るさ) レベルを設定します。

項目	設定	説明
イベント感度設定	 低 高	イベント記録の衝撃検知の感度:「低」(G 値:3.0G)～「高」(G 値:0.5G)を設定します。 低(検知しにくい) ↔ 高(検知しやすい)
情報記録設定	緯度 / 経度 * G センサー値	録画ファイルに記録する情報(緯度 / 経度または G センサー値)を選択します。 記録された情報を削除することはできません。
速度情報表示	オン * オフ	記録ファイルに書き込む速度情報表示の設定をします。
カスタム文字設定	—	映像の右下に記録される文字を設定できます。 文字数は最大で 12 文字です。 [▲/●] ボタン / [▼/REC] ボタン:カーソルが左右に 1 文字ずつ移動します。 [画面切替 / 決定] ボタン:選択中の文字を入力文字として確定します。 「OK」を選んで[画面切替 / 決定] ボタンを押して終了します。

■ システム設定

項目	設定	説明
衛星受信状態	—	衛星信号の受信状態を表示します。 衛星受信状態画面で[画面切替 / 決定] ボタンを押すと「衛星設定」画面になります。「GPS」または「GLONASS」の衛星測位システムの選択ができます。お買い上げ時は「GPS」に設定されています。
日付 / 時刻設定	自動(衛星データ) * 手動	「自動(衛星データ)」の場合は「タイムゾーン」が「GMT+09:00」に設定されています。そのままの設定でご使用ください。「手動」は日付と時刻を手動で設定できます。 [▲/●] ボタン / [▼/REC] ボタンで数値を変更して[画面切替 / 決定] ボタンで確定します。
操作音設定	オン * オフ	警告音およびボタン操作時の操作音を設定します。
音量設定		録画ファイルを再生するときの音量レベルを 5 段階(消音 / 1～5)で設定します。 警告音およびボタン操作時の操作音も変更されます。
LCD 表示時間設定	常時表示 * 情報表示 10 秒 1 分 3 分	常時録画や駐車モード中に操作をしていないときの画面表示がオフになるまでの時間を設定します。 画面表示をオンにするには、本機のいずれかのボタンを押します。 「情報表示」を選択すると、駐車モード中の画面表示はオフになります。

設定を変更する

項目	設定	説明
言語	English 日本語*	表示する言語を設定します。
距離単位	メートル* マイル	速度の単位を設定します。
記憶域の割り当て	1/3 2/3* 3/3	常時録画 / イベント記録 / 駐車録画 / 写真を保存するための記憶領域を設定します。(→ P.32) 必要な録画ファイルが保存されている場合は、パソコンなどに保存してから設定を変更してください。 ※変更するとフォーマットされ、すべてのデータが消去されます。
初期値に戻す	—	メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻します。 必要な録画ファイルが保存されている場合は、パソコンなどに保存してから操作してください。 ※実行するとフォーマットされ、すべてのデータが消去されます。
バージョン	—	ファームウェアのバージョンを表示します。

■ フォーマット

説明
microSD カードをフォーマットします。 ※実行するとフォーマットされ、すべてのファイルが消去されます。(→ P.26) 必要な録画ファイルが保存されている場合は、パソコンなどに保存してから操作してください。

LCD 表示時間を設定する

LCD 表示時間の設定は「常時表示」、「情報表示」、「10 秒」、「1 分」、「3 分」の 5 つから選択できます。

お買い上げ時は「常時表示」に設定されています。



- ・「常時表示」に設定すると、駐車モード中も画面が表示されたままになります。

1. [メニュー/左] ボタンを押す

メニューが表示されます。



2. [▲/右] ボタンまたは [▼/REC] ボタンで「システム設定」を選択し、[画面切替 / 決定] ボタンを押す



3. [▲/右] ボタンまたは [▼/REC] ボタンで「LCD 表示時間設定」を選択し、[画面切替 / 決定] ボタンを押す

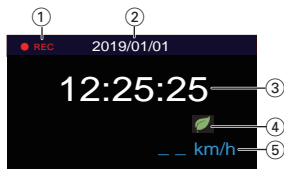


4. [▲/右] ボタンまたは [▼/REC] ボタンで設定したい時間を選択し、[画面切替 / 決定] ボタンを押す LCD 表示時間が設定されます。



● 情報表示画面

「情報表示」に設定した場合、常時録画は 10 秒後、イベント記録は録画終了後に情報表示画面に切り替わります。駐車モード中は 10 秒後に画面が消えます。



番号	表示	説明
①	● REC	録画アイコン（録画中、●アイコンが点滅します）
②	年 / 月 / 日	カレンダーを表示します
③	時 : 分 : 秒	現在時刻を表示します
④	🍃 (緑色)	「エコドライブ表示設定」を「オン」にしていると、アイコンを表示します（走行中の加速時 / 減速時の G 値を検出してアイコンの色が切り替わります）
	🍂 (黄色)	
	🔥 (赤色)	
⑤	km/h または mph	現在の速度を表示します

設定を変更する

リアスモークガラスの設定を変更する

リアスモークガラスの設定は「無し」、「薄め」、「濃いめ」の3つから選択できます。お買い上げ時は「無し」に設定されています。



- リアガラスの色が濃い場合、またはフィルムを貼っている場合、「無し」の状態で使用していると暗いところや夜間の映像が暗く録画されます。

1. [メニュー/≡] ボタンを押す

メニューが表示されます。



2. [▲/📷] ボタンまたは [▼/REC] ボタンで「録画設定」を選択し、[画面切替/決定] ボタンを押す



3. [▲/📷] ボタンまたは [▼/REC] ボタンで「リアスモークガラス」を選択し、[画面切替/決定] ボタンを押す



4. [▲/📷] ボタンまたは [▼/REC] ボタンで設定を選択し、[画面切替/決定] ボタンを押す

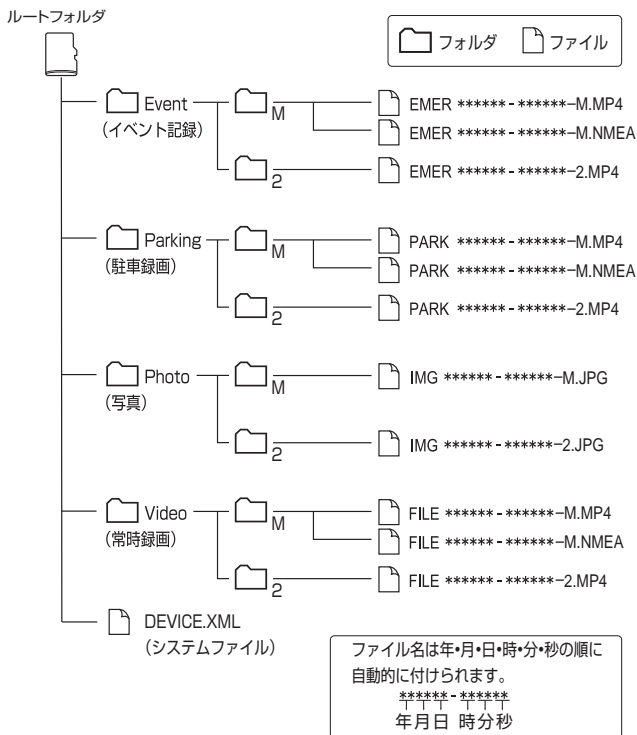
記録映像の明るさが変更されます。



フォルダ / ファイル構成

microSD カードに録画または記録したファイルは、項目ごとのフォルダに保存されます。

microSD カード内にあるファイル名をパソコンなどで変更しないでください。本機や KENWOOD ROUTE WATCHER II で正しくファイルを再生できなくなります。システムファイルの位置情報などが含まれています。システムファイルだけを削除するとファイルの位置情報が使用できなくなります。



● ファイル名の表記について

- ・GPS が正しく受信できないときのファイル名は GPS を最後に受信したときの日付と時間に近い表示になります。
- ・ファイル名の「-M」はメインユニットで録画したファイル、「-2」は 2nd カメラで録画したファイルです。

パソコンツールを使う

ビューアソフト (KENWOOD ROUTE WATCHER II) は、本機で録画した映像を表示するためのパソコンツールです。

KENWOOD ROUTE WATCHER II の動作環境

● Windows 版

対応 OS	Windows 7 (32Bit/64Bit) Windows 8.1 (32Bit/64Bit) Windows 10 (32Bit/64Bit)
CPU	Intel Core i3 2GHz 以上
メモリ	2GB 以上
ディスプレイ	1280 × 800 以上
サウンド	Windows で使用可能な PCM サウンド再生機能
その他	インターネット接続環境が必要です。

● Mac OS X 版

対応 OS	Apple Mac OS X 10.7 以上
-------	------------------------

インストールする

インストールをするときはパソコン環境を「管理者権限」にしてインストールしてください。

1. <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/> で型名を選んでインストーラーをダウンロードする
2. パソコンにインストールする

録画ファイルの再生

1. microSD カードを本機から取り出し、カードリーダー (市販品) を使用するか USB ケーブル (市販品) を経由して本機をパソコンに接続する
2. KENWOOD ROUTE WATCHER II を起動する



.....
• KENWOOD ROUTE WATCHER II の使いかたについては、KENWOOD ROUTE WATCHER II の取扱説明書をご覧ください。
.....

故障かな？と思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店または当社サービス窓口へご相談ください。

● FAQ (よくあるご質問)

当社のホームページでは、本機についてのお問い合わせの内容を掲載しています。


「故障かな？と思ったら」と合わせてこちらもお覧ください。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/faq>

共通

症状	原因	対処方法
電源がオンにならない/ シガープラグのインジケータ ーが点灯していない	本機に電源が供給されていない	シガープラグの差し込みと、本体の差し込みを確認してください。(→ P.20)
	ヒューズが切れている	ヒューズ (2A) と交換してください。 お買い上げの販売店にご相談ください。
	動作が不安定になっている	本体の RESET ボタンを押してください。(→ P.12) それでも改善しない場合は、microSD カードのフォーマットを行ってください。(→ P.26)
microSD カードを認識しない	microSD カードスロットに microSD カードが入っていない	microSD カードを microSD カードスロットに挿入してください。(→ P.25)
	本機で使用できないファイルシステムでフォーマットされた microSD カードが挿入された	FAT32 でフォーマットされた microSD カードをご使用ください。(→ P.13)
	microSD カードがフォーマットされていない	フォーマットを行ってからご使用ください。(→ P.26)
	microSD カードの読み込み / 書き込みができなくなっている	microSD カードをフォーマットしてください。(→ P.26)
	フォーマットしても microSD カードエラーが表示される	それでも症状が改善しない場合は、microSD カードを交換してください。
録画ファイルが見つからない	録画領域に空きがないため、古いファイルが上書きされた	必要な録画ファイルをパソコンに保存してから録画を開始してください。
	16GB より容量が少ないため録画ファイルを作成できない	容量が16GB~32GBの microSD カードをご使用ください。(→ P.13)
録画されたファイルの映像が鮮明でない	レンズが汚れている	柔らかい布などで乾拭きしてください。

故障かな？と思ったら

症状	原因	対処方法
録画を開始するときに、「2ndカメラが未接続です。1台のカメラで記録を開始します。」というメッセージが表示され、画面に  が表示されたままになる	<ul style="list-style-type: none"> 2ndカメラが正しく接続されていない 車外後方カメラ用ケーブルが途中でかみ込みなどで断線している 	<ul style="list-style-type: none"> 2ndカメラの接続を確認してください。(→ P.20) 車外後方カメラ用ケーブルの配線を確認してください。
2ndカメラの映像に切り替わらない		
2ndカメラの映像が記録されていない		

駐車録画

症状	原因	対処方法
駐車録画ができない	別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR350 を使用していない	本機の駐車録画機能を有効にするには別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR350 が必要になります。CA-DR350 を接続してください。(→ P.24)
	接続された CA-DR350 の「オフタイマー設定」が OFF になっている	CA-DR350 の取扱説明書を確認し、スイッチ設定を行ってください。
	「駐車モード」が「オン」になっていない	「駐車モード設定」で駐車モードを「オン」にしてください。(→ P.31)
	「自動起動設定」が「手動」に設定されている	「自動起動設定」を「手動」以外に設定するか (→ P.42)、駐車モードを手動で起動してください。(→ P.33)
	本機に記憶している取り付け位置情報が正しくないため、車両停止を検出できない	正しい位置を記憶させるため、一度電源を入れ直してください。(→ P.25)
画面が表示されたままになっている	「LCD 表示時間設定」が「常時表示」に設定されている	「LCD 表示時間設定」を「常時表示」以外に設定してください。(→ P.45)
録画ファイルが見つからない	駐車録画中に衝撃を複数回検知したため、常時録画に切り替わった	録画ファイルは「Video」フォルダに保存されます。「Video」フォルダをご確認ください。(→ P.47)

症状	原因	対処方法
別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR350 のタイマー設定時間より前に録画が終わっている	車両のバッテリーの電圧が別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR350 のバッテリー上がり防止設定値(電源カットオフ値設定)以下になった	別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR350 のタイマー時間設定を短くするか、バッテリー上がり防止設定値を下げてください。最小値まで下げても症状が改善されない場合、車両バッテリーの電圧が設定値電圧より低い可能性があります。車両販売店でバッテリーの電圧を確認してください。
渋滞などの低速走行中、駐車モードが起動してしまう(録画ファイルが、「Parking」フォルダに記録されている)	「自動起動設定」を「入りやすい」に設定している	「自動起動設定」を「入りにくい」に設定してください。 (→ P.42)
走行を開始しても駐車モードが解除されず、常時録画にならない	「自動起動設定」が「入りやすい」になっている	「自動起動設定」を「入りにくい」に設定してください。 (→ P.42)

イベント記録

症状	原因	対処方法
車両に衝撃がないときにイベント記録の警告音が鳴り続けている	<ul style="list-style-type: none"> 電源オン時の G センサーの補正値が正しく設定されていない 急な坂道を走行している 正しい位置に取り付ける前に電源をオンにした 	<ul style="list-style-type: none"> 本機を正しい位置に取り付けてから電源をオフ/オンしてください。 平らな状態で電源を入れ直してください。 録画設定の「イベント感度設定」で衝撃検出の感度を下げてください。(→ P.43)
残したい映像が見つからない	残したい映像がイベント記録時間に収まらなかった	常時録画を保存しているフォルダから、イベント記録後に作成されたファイルを確認してください。

故障かな？と思ったら

運転支援

症状	原因	対処方法
運転支援機能が正しく動作しない	調整がずれている	「メインユニットのカメラ位置とボンネット位置を調整する」に従って再設定してください。(→ P.38)
	雨の日や夜間に走行している	雨の日、夜間など、環境により正しく動作しないことがあります。
	衛星の信号を受信できない	衛星の信号を受信できていないと、速度や車間距離などが正しく測位できないため、機能が正しく働きません。
リフレッシュ通知が設定した時間になっても通知されない	メニュー表示など録画が中断されるとタイマーはリセットされる	録画が中断される操作はしないでください。

時計


症状	原因	対処方法
時計がずれる	自動設定時、標準時間設定(タイムゾーン)がずれている	標準時間設定を正しく設定してください。 日本の「タイムゾーン」設定は、「GMT+09:00」です。 (→ P.43)

KENWOOD ROUTE WATCHER II

症状	原因	対処方法
KENWOOD ROUTE WATCHER II が起動しない	管理者権限でのインストールをしていない	管理者権限でインストールしてご使用ください。(→ P.48)
2nd カメラの映像がメインユニットの映像とリンクして再生されない	最新のソフトウェアを使用していない	最新のソフトウェアをダウンロードしてください。(→ P.48)

表示メッセージ

次のメッセージを表示した場合は、一覧に従って対処してください。

メッセージ	原因	対処方法
「新しいSDカードを検出しました。フォーマットしますか?」と表示される	microSDカードが認識できる形式でフォーマットされていない	「画面切替 / 決定」ボタンを押して、フォーマットを行ってください。(→ P.26)
「SDカードのフォーマット推奨時期です。」と表示される	前回フォーマットしてから2週間以上、経過している	microSDカードを本機でフォーマットしてください。(→ P.26)
「SDカードエラーです。フォーマットをお試しください。」と表示される	認識できないmicroSDカードが挿入されている	microSDカードを本機でフォーマットしてください。(→ P.26) フォーマットしても、同じ表示が出る場合は、新しいmicroSDカードを入れてください。(→ P.25)
「SDカードが入っていません」と表示される	microSDカードを入れていない状態で電源をオンにした	microSDカードを入れてください。(→ P.25)
「他のSDカードを入れてください」と表示される	microSDカードのデータが読めない	新しいmicroSDカードを入れてください。(→ P.25)
「2ndカメラが未接続です。1台のカメラで記録を開始します。」と表示される	・2ndカメラが接続されていない ・2ndカメラのケーブルが外れている	2ndカメラの接続を確認してください。(→ P.20)
「衛星を受信できていません。」と表示される	トンネルや建物の中にいる。または、悪天候や障害物の影響を受けているため、衛星の信号を受信できない	障害物のない見通しの良いところで衛星の信号を受信できるか確認してください。(→ P.12)
「ファイル再生」の選択画面で「  」が表示される	何らかの原因で再生できないファイルが録画された	必要なファイルをパソコン等に保存してからmicroSDカードを本機でフォーマットしてください。(→ P.26) それでも同じ表示が出る場合は、新しいmicroSDカードに交換してください。
「駐車モードを開始するには、外部電源の接続が必要です。」と表示される	付属のシガープラグコードで使用しているときに「駐車モード設定」が「オン」に設定されている	駐車録画機能を使う場合は、ドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR350(別売品)が必要です。(→ P.24)

付録

モニター画面について

- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったり、残像が見えることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点が出る場合があります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、画面を見る角度によっては表示が見づらいことがあります、故障ではありません。

商標について

- microSDHC、microSDHC ロゴは SD-3C LLC の商標です。
- Windows、Windows Media は 米 国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple、Mac、OS X は米国およびその他の国で登録された米国 Apple, Inc. の商標です。
- Intel Core は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。
- 本製品は AVC Patent Portfolio License に基づき、以下の用途にのみライセンスされています。
 - 消費者が個人的かつ非営利目的で、MPEG-4 AVC 規格に準拠する動画 (以下、AVC Video) を記録する場合
 - AVC Video (消費者が個人的に非営利目的で記録したもの、または MPEG LA よりライセンスを取得したプロバイダが記録したもの) を再生する場合

ソフトウェアについて

本製品には、以下に記載しています第三者のソフトウェアが含まれています。各ソフトウェアについては、後述するライセンス条件が適用されます。

Konatu Font

Copyright (c) 2012 MASUDA mitiya

適用ライセンス：MIT License

libbupnp

Copyright (c) 2000-2003 Intel

Corporation

適用ライセンス：BSD 3-Clause "New" or "Revised" License

第三者のソフトウェアに適用されるライセンス条件

MIT License

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"),

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

BSD 3-Clause "New" or "Revised" License

- * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
- * modification, are permitted provided that the following conditions are met:
- * `\begin{itemize}`
- * `\item` Redistributions of source code must retain the above copyright notice,
- * this list of conditions and the following disclaimer.
- * `\item` Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
- * notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
- * documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * `\item` Neither name of Intel Corporation nor the names of its contributors
- * may be used to endorse or promote products derived from this software
- * without specific prior written permission.
- * `\end{itemize}`
- * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND

- CONTRIBUTORS
- * "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT
- * LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR
- * A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL INTEL OR
- * CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL,
- * EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
- * PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR
- * PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY
- * OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING
- * NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS
- * SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
- *
- */

主な仕様

本体

電源電圧	DC5.0V (12/24V 車両用シガープラグコード付属)
録画時消費電流 (最大)	750mA (2A)
測位衛星	GPS/GLONASS
G センサー	-3.0G~+3.0G : 6段階
液晶サイズ	2.7型 フルカラー TFT 液晶
撮影素子	1/2.7型 フルカラーCMOS
最大記録画角	水平 : 約 122° / 垂直 : 約 63° / 対角 : 約 150°
F 値	F1.8
動作温度範囲	-10℃~+60℃
記録解像度 (最大)	Full-HD (1920 × 1080) (動画最大約 207 万画素)
フレームレート	27.5fps
記録方式	常時録画 / イベント記録 / 手動録画 / 駐車録画 * * 駐車録画は別売りの「CA-DR350」が必要
常時録画ファイル単位	1分
録画フォーマット (動画)	H.264 (MP4)
録画フォーマット (静止画)	JPEG 準拠 (最大 : 1920 × 1080)
記録映像再生方法	本体、もしくは Windows 標準の Windows Media Player など 専用ビューアソフト対応 (当社ホームページよりダウンロード)
記録メディア	microSDHC カード 16GB~32GB 対応 Class 10 以上推奨
外形寸法 (W) × (H) × (D) (突起物除く)	W : 87.9mm/H : 50.6mm/D : 34.4mm ブラケット (テープ貼り付け) 装着時高さ : 最大 84mm
質量 (重さ) (ブラケット/ケーブル含ま ず、microSDHCカード含 む)	108g
電源ケーブル長	3.5m (シガープラグコード)

2nd カメラ

撮像素子	1/2.7 型 フルカラーCMOS
最大記録画角	水平：約 100° / 垂直：約 52° / 対角：約 111°
F 値	F1.8
動作温度範囲	-10℃～+60℃
記録解像度 (最大)	Full-HD (1920 × 1080) (動画最大約 207 万画素)
フレームレート	27.5fps
外形寸法 (W) × (H) × (D) (突起物除く)	W : 44.0mm/H : 40.4mm/D : 33.0mm ブラケット (テープ貼付け) 装着時高さ : 最大 76mm
質量 (重さ) (ブラケット/ケーブル含 まず)	35g
接続ケーブル長	8.0m

この装置はクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

● システム更新について

本機のシステムファームウェアを更新します。アップデートに関する情報やアップデート手順は、当社ホームページ <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/> をご覧ください。

保証とアフターサービス

保証について

- 保証書 この製品には、保証書を添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間 お買い上げの日より1年です。

修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたは JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- ホームページ
<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>
- JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター
0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)
0570-010-114 (携帯電話、PHS からはナビダイヤル)
045-450-8950 (一部 IP 電話など) / FAX 045-450-2308
受付時間などは、裏表紙を参照してください。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」(→ P.49) または当社ホームページの FAQ (→ P.49) を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…

お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

● 補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。

- 製品をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。(本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。)
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。
- 保証期間内外に関わらず、修理、点検のために製品を車両から取り外し、または取り付けの作業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。

● 修理料金のしくみ(有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- 技術料: 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代: 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度

下記の申込用サイトに登録してください。

<https://jdrc-omimai.sakura.ne.jp/>

今すぐ事前Web登録を!

本制度のご利用にはWeb(ホームページ)からの事前登録が必要です。

商品パッケージにあるマーク、または右のQRコードから申込用サイトにアクセスすることができます。事前登録されないと補償金をお支払できませんので、購入後1ヵ月以内のご登録をお願い致します。



交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度とは

ドライブレコーダーのご購入者及び使用者が、ドライブレコーダーを設置した車両でレッカー搬送を伴う交通事故にあわれた場合、ドライブレコーダーの再購入費用及びその諸経費を補てんする目的で、ドライブレコーダー協議会から一律4万円の補償金が支払われる制度です。

費用負担

無し

(費用はメーカーが負担します)

買替補償金

4万円 (一律)

JDRC ドライブレコーダー協議会 補償金制度担当
お問い合わせ e-mail : info@jdrc.gr.jp

内容

補償金の範囲

- 1 ドライブレコーダーの再購入費用
- 2 SDカード再購入費用
- 3 ドライブレコーダーの撤去費用
- 4 ドライブレコーダーの再設置費用
- 5 交通事故証明書の発行費用
- 6 補償金申請に関する資料及び物品の送付料
- 7 その他、上記に関する諸経費

補償金額

一律4万円

ご加入費用

無料 (費用はメーカーが負担します)

補償期間

登録日の翌日より1年間

受取人

本制度に加入しているご本人様となります。(死亡の場合は、法定相続人となります。)

対象となる交通事故

レッカー搬送を伴う自動車事故(追突された場合、車両が盗難された場合、車両が故障された場合は除きます。)

事故時における申請資料

下記資料をご提出ください

- 1 ドライブレコーダー本体
- 2 ドライブレコーダーの事故映像データの記録されたSDカード
- 3 交通事故証明書(写しでも可)
- 4 レッカー搬送の証明書類
- 5 再購入された同一メーカーのドライブレコーダーのレシート
- 6 補償金請求書





正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)
0570-010-114 (携帯電話、PHS からはナビダイヤル)
045-450-8950 (一部 IP 電話など) / FAX 045-450-2308
住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
受付時間 月曜～金曜： 9:30 ～ 18:00
土曜： 9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。